

「子どもの冬の事故を 予防しよう！」

冬は寒いので室内で過ごす時間が増えます。室内は安全と思われがちですが、幼い子どもにとっては危険がいっぱいです。室内をもう一度見直し、冬の事故を予防しましょう。

暖房機器(ストーブなど)によるやけど

《予防法》

- ・子どもや赤ちゃんが近づける場所には置かない。 ・囲いを立てる。

《対処法》

- ・シャワーや濡れたタオルを当てて20～30分しっかり冷やす。
- ・皮膚が服にくっついていときは無理に脱がせず服の上から冷やす。
- ・水ぶくれができるひどいやけどの場合は、速やかに病院へ行く。

こたつで脱水症状

一見、汗をかいていないようでも、身体の水分は奪われています。

《予防法》

- ・こまめな水分補給。 ・こたつで寝てしまった場合は、布団に寝かせる。

《対処法》

- ・脱水症状により意識がはっきりしなかったり、吐いたりする場合はすぐに救急車を。

お餅による窒息

窒息を放置すると死に至ることもある危険な事故！

《予防法》

- ・一口に切って良く噛んで食べる。 ・しゃべりながら食べない。 ・一人で食べない。
- ・口の中は飲み物で湿らせておく。

《対処法》

- ・詰まらせてしまったら、まず救急車を呼びます。そして、救急隊が来るまでの間に背中を叩くか胸骨を圧迫して吐き出させます。

【1. 背部叩打法】*乳幼児向け

- ①乳児をうつ伏せにし、その下側に腕を通す。
- ②指で乳児の下あごを軽く突き出し、上半身がやや低くなるような姿勢にする。
- ③手の付け根で両側の肩甲骨の間を4～5回迅速に叩く



背部叩打法



胸部突き上げ法

【2. 胸部突き上げ法(ハイムリッヒ法)】*年長児、大人向け

後ろから両腕を回し、みぞおちの下で片方の手を握り拳にして腹部を上方へ圧迫する。

室内の“意外と危険なもの”

●テーブルクロス

子どもがテーブルクロスの端を引っ張って机の上のものを落とす可能性があります。もし、机の上に熱いコーヒーがあったら…想像するとゾッとします。

●ビニール袋・ラップ

子どもはビニールの質感を好みます。頭をつっこんだり、口に入れたことで窒息事故につながる場合があるので要注意です。

●水の入った浅い皿

ペットの水飲み皿や植木の移動時の下皿などで溺れる事故も起きます。「そんな少量で溺れるはずがない」と思うかもしれませんが、幼児は体に対して頭が重いため数センチの深さでも溺れることがあります。

子どもは好奇心が旺盛です！

できるだけ対策をとり、子どもを事故から守りましょう！